

事例で学ぶ！会計・金融コンプライアンス

現代の経済環境では、企業の会計・金融に関する透明性と正確性が強く求められています。不正会計や資金管理の不備は、企業の信用失墜や法的制裁に直結し、社会的責任を問われる重大なリスクとなります。さらに、国際的な会計基準や金融規制の強化により、適切なコンプライアンス対応は不可欠です。本コースは、実際の事例を通じて、リスク回避と健全な企業経営を支える知識を習得する絶好の機会です。企業の信頼と持続的成長を守るため、今こそ知識を身につけましょう。

POINT 01

最新トレンドを網羅！

粉飾→内部統制→監査→開示→インサイダーの流れに、ESG・AI統制・通報制度など未来要素も組み込み、古びない内容になっています。



POINT 02

「気づき→学び→実践」

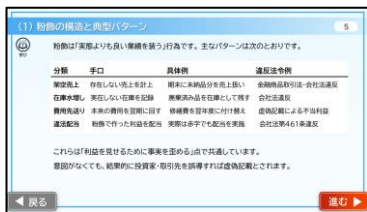
「気づき→学び→実践」の段階的な学習を通して、適切な行動を考えることができるようになります。

| | |
|-----|-------------------------|
| 気づき | 身近なケースから「これって大丈夫？」を考える。 |
| 学び | 法律やルールの背景をわかりやすく整理する。 |
| 実践 | 具体的な職場行動としてどう生かすかを考える。 |

POINT 03

図表で複雑な制度もすぐ把握

内部統制・粉飾・インサイダーなど難しい領域を、図表とポイント整理で視覚的に理解しやすくなっています。



事例で学ぶ！会計・金融コンプライアンス

学習目標

- ・ 数字の前倒し・付け替えなど、粉飾の入口となる行為を理解し、誠実な記録の基準を身につける。
- ・ 承認・分掌・監査など内部統制の仕組みを理解し、不正を“仕組みで防ぐ”視点を養う。
- ・ 未公表情報・SNS・AI 入力をふくむ情報リスクを理解し、適切な判断と行動につなげる。
- ・ 記録・説明・統制を通じて、ガバナンスと透明性を高める行動基準を身につける。
- ・ 組織の信頼を守るために、自らの判断を法令と社会的責任の観点から整理できるようになる。

前提知識

特になし

※「事例で学ぶ！はじめてのコンプライアンス」をすでに受講している、もしくはそれと同等の知識を有することが望ましい。

Lesson1 誠実に記録する — 数字の「ごまかし」はどこから不正になる？

- (1) 粉飾の構造と典型パターン
- (2) 現場で起きる“小さな不正”
- (3) 違法配当と法的リスク
- (4) 未来項：開示・透明性の強化

Lesson2 守る — お金と情報を扱う“仕組み”をどう整えるか

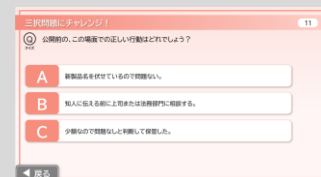
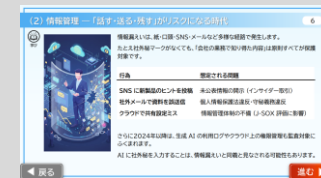
- (1) 内部統制とは — 信頼を“仕組み”で支える
- (2) 監査の仕組み — “第三の目”が信頼を裏づける
- (3) 贈収賄・キックバック — “親しさ”が不正に変わるとき
- (4) 未来項：J-SOX・IT 統制・通報制度の拡張

Lesson3 判断する — 情報を知る立場の責任

- (1) インサイダー取引とは — 公平な市場を守るために
- (2) 情報管理 — 「話す・送る・残す」がリスクになる時代
- (3) 金融取引の公正性 — 「知っている人」が得をしない社会
- (4) 未来項：非財務情報・AI・ESG 開示の時代へ

セルフチェック
確認テスト
コースレビュー

- 受講期間：6ヵ月（＋閲覧期間6ヵ月）
- チュータによる個別指導：なし
- 標準学習時間：30分
- PDF資料：あり
- 定価：¥5,000円（税別）



1
気づき

2
学び

3
実践

セルフ
チェック